

## 平成 24 年度障害者スポーツ文化センター横浜ラポール事業報告

市内唯一の障害者のスポーツ・文化・レクリエーション振興の中核拠点施設として、地域や利用者の様々な状況に即した事業を行いました。運営の基本理念を「リハビリテーションの向上」、「豊かな人生への支援」、「共生社会実現への取り組み」と定め、リハビリテーション・スポーツを核とした各種プログラムの展開、多様な地域資源（横浜市体育協会、各種競技団体等）との連携に基づいた市域での事業を推進しました。

今年度の開館日数は 345 日（昨年度 346 日）で、施設利用者数は延べ 450,622 人（昨年度延べ 434,873 人）と過去最高の利用者数でした。

### (1) 開館 20 周年記念事業の実施

開館 20 周年記念事業として「記念式典（8 月 28 日開催）」「記念誌の発行（8 月発行）」「開館 20 周年記念ラポールの祭典（9 月 2 日開催）」を中心に、いくつかの冠事業を実施しました。また、次の 20 年に向けた新しい方向性を職員全体で検討し、より良いラポールをつくるための第 1 歩としています。

### (2) 利用者サービスの向上

利用者サービスの向上として、様々な取組を行いました。例えば、視覚障害者の安全な館内移動を確保するための点字ブロック（エスコートライン）の拡充、特別な配慮が必要な方を対象とした更衣室の設置、プール内のフロア表示の一新、ホームページの更新間隔の短縮等があります。

### (3) 地域支援事業の充実

指定管理公約や、横浜市との協約にもなっている地域支援事業の取組については、スポーツ・文化の両面で積極的に展開し、その充実を図りました。また、今後は「ラポールとしての地域支援」を一層組織的に進めるべきである、という視点でプロジェクトチームを設け、事業を効果的に進めるための方策を検討しました。

### (4) リハビリテーション事業団各部門との連携強化

リハセンター等、事業団各部門との一体的な事業展開は、ラポールの大きな特徴であり、これまでも様々な形で連携した取組を進めてきましたが、今年度は更なる充実を図りました。例えば、中途障害部門と連携したリハ・スポーツ関連のプログラム、ぴーす中川を中心とした発達障害児への運動指導、研究開発課と進めたスポーツ機器開発、高次脳機能障害支援センターと連携したプログラム等を実施しています。

### (5) 競技力向上に向けた取組

今年度はパラリンピックイヤーであり、ラポールからも職員 1 名を代表チームコーチとして派遣し、世界のレベルにふれる機会を得ました。その一方で、スポーツ教室・ハマピック・強化練習、という競技力向上の取組を充実させ、全国障害者スポーツ大会（10 月、岐阜県）において、金メダル獲得ランキング全国第 2 位、メダル獲得率全国第 10 位を達成しました（メダル獲得率 10 位以内は、指定管理公約）。

## 1 施設運営事業

### (1) 運営方針

障害者等のグループ（団体）または個人による自主的なスポーツ・文化・レクリエーション活動を支援するため、各種のスポーツ・文化施設の貸出を行いました。

また、利用促進策として、区内企業等へのダイレクトメールの発送を試みました。広報については、広報紙やインターネット等をとおして、ラポールの事業を紹介し、障害者の社会参加の促進を図りました。

### (2) 平成 24 年度における重点的な取組

平成 24 年度における重点的な取組については、以下のように実施しました。

#### ア 安全で快適な施設運営の基盤整備

一 昨年（平成 23 年）の東日本大震災を契機に、ラポールが定めた「防災の日（毎月 11 日）」には、震災を想定した訓練や防災備品の点検等を行い、職員一人ひとりの危機管理に対する意識を高めました。

また、開館後 20 年を経た施設の老朽化に対し、計画的な整備を進め、安全で快適な施設運営の基盤を構築しました。

#### イ 利用者サービスの向上

利用者の意見を取り入れながら、サービスの向上を図るとともに、ひな人形やクリスマスツリーなどを飾る等の季節行事を年 7 回実施しました。笑顔であいさつの励行等を行うなど、「アットホームで温かみのある」施設運営を行いました。

サービス向上の一環として、施設の予約状況がホームページで確認できるよう、その日の予約受付終了後にデータ更新をしたほか、大型バイク置き場の設置や自転車置き場の整備、点字ブロック（エスコートライン）の増設、床面への案内表示などを行いました。

#### ウ 経営感覚を持った管理・運営と増収対策

施設、設備の運営コストの削減を進めるとともに、スポーツ・文化事業においては、コスト面の見直しや参加率向上等による増収策を行いました。また利用率向上策として、既述の最新の予約状況の提供の他、申請書の提出及び施設利用料の支払いに関して、利便性を図りました。また増収策として、ラポール利用案内のダイレクトメール発送のほか、平日のシアター利用活性化を目的にターゲットを絞り込んだ PR を行いました。

## 2 スポーツ振興事業

### (1) 運営方針

初心者に重点を置く「スポーツ人口の拡大」、スポーツを通じた障害者の「自立支援」及びラポールで培ったノウハウの「地域還元」に基づくスポーツ環境の向上をコンセプトに事業を実施しました。

### (2) 平成 24 年度における重点的な取組

#### ア 高次脳機能障害者に対するサポート体制の強化

ラポール館内の利用者だけでなく、地域支援事業等においても高次脳機能障害の対象者が増加しているため、高次脳機能障害支援センターとの定例的な情報交換会を設け、利用者に対するサポート体制の充実を図りました。

#### イ 地域支援の充実

地域におけるスポーツ活動を一層充実させるため、各地域の特性に合わせた関連組織等との連携を深め、地域支援事業が点でのサービスから、線や面での展開に広がるよう努めた結果、ネットワークの構築が進みました。

#### ウ 人材育成の拡充

横浜市域に渡って障害者のスポーツ活動を普及振興していくためには、人材育成の拡充が重要であると捉え、これまでの各種研修に加え、より実践的で現場のニーズに合せたプログラムを実施しました。

#### エ 競技力向上に向けた取組

全国障害者スポーツ大会の正式種目競技を中心に、日常的なスポーツ教室・記録会等からハマピックの開催や代表選手の強化練習に至るまで、各競技協会等との連携を進め、継続的な競技力の向上を図りました。

### (3) 事業内容

#### ア スポーツ初期相談

新たにラポールを利用する人に対し、各種教室や施設の紹介等の相談を行いました。また、必要に応じた主治医や担当セラピストへの照会などを通して、利用者が適切なプログラムへ速やかに参加できるよう、第一次のスクリーニング機能を果たしました。

#### イ リハビリテーション・スポーツ

医学的リハビリテーションと社会リハビリテーションの中間に位置するリハビリテーション・スポーツをラポールにおけるスポーツ指導の中核と位置づけ、様々な障害者への指導を行いました。

リハセンターとの連携では、ラポールの中で特に多数を占める脳血管障害片麻痺の利用者を主たる対象として、言語障害の相談会や転倒骨折予防の講義を新たに行いました。言語障害に関しては言語聴覚士、転倒骨折予防は理学療法士と、それぞれリハセンター専門職が関わることで、利用者サービスの向上につながっています。

また、日常的にスポーツ相談・健康相談・個別指導等を実施し、特に医療的な配慮が必要と考えられた対象者には、リハセンター医師による医事相談を行いました。リハビリテーション・スポーツ教室として、成人片麻痺者、肢体不自由児、知的障害児、高次脳機能障害者の各クラスを開催しました。

#### <リハビリテーション・スポーツ>

プログラム	内 容	回数	参加者数
各種相談	スポーツ相談や健康相談等	479回	479人
リハ・スポーツ教室（成人）	成人片麻痺者を対象とする教室	46回	323人

リハ・スポーツ教室 (学齢)	学齢発達障害児を対象とする教室	16回	63人
リハ・スポーツ教室 (高次脳)	高次脳機能障害者を対象とする教室 やフォローアップ	50回	1,439人
リハ・スポーツ教室 (フォローアップ)	教室参加後にフォローの必要性が生 じたケースへの対応	6回	20人
リハ・スポーツ教室 (リハセンター連携プログラム)	リハセンターの言語聴覚士や理学療 法士と連携したプログラム <sup>1)</sup>	5回	44人
個別指導	障害に応じたマンツーマン指導	525回	525人
学齢障害児支援	学齢障害児のスポーツ体験	40回	234人
旅リハ教室	旅リハ参加者に向けた教室	9回	174人
体力診断 (体力測定)	リハ・スポ教室 (成人) の参加者を 主な対象とする体力測定	2回	129人
合 計 (昨年度) 3,430人 (3,283人)			

\*1) リハセンター専門職との連携を進めた新規の取組です。

#### ウ スポーツ・レクリエーション

障害者がスポーツ・レクリエーション活動に、“いつでも”“どこでも”自由に  
参加できるように、障害者にとって使いやすいスポーツ施設の運営を行いました。

また、身近な施設においてもスポーツ・レクリエーション活動ができるような  
環境づくりを推進しました。

スポーツ教室では、リハビリテーション・スポーツとの有機的な連携のもと、  
生涯スポーツ活動の定着に向けた指導を行いました。また、上級者向けのプログ  
ラムを実施し、全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねるハマピック競技大会の充  
実を図りました。

#### <スポーツ・レクリエーション教室>

プログラム	内 容	回数	参加者数
卓球教室 (初心者)	卓球の初心者を対象とする教室	24回	94人
卓球教室 (初級者)	卓球の初級者を対象とする教室	24回	291人
卓球教室 (フォローアップ)	教室参加後にフォローの必要性が 生じたケースへの対応	7回	42人
卓球教室 (中級者)	卓球の中級者を対象とする教室	24回	568人
卓球教室 (上級者)	卓球の上級者を対象とする教室	18回	192人
水泳教室 (はじめてプール)	水泳の初心者を対象とする教室	21回	104人
水泳教室 (らくらくクロール)	水泳の初級者で片麻痺以外の方を対 象とする教室	41回	1,617人
水泳教室 (選手クラス)	水泳の競技選手を対象とする教室	18回	464人
チャレンジ背泳ぎクラス	背泳ぎの習得を目指すクラス	10回	96人
チャレンジバタフライクラス	バタフライの習得を目指すクラス	10回	74人

ジュニアダンス教室	発達障害の学齢女子を対象とするダンス教室	28回	423人
横浜F・マリノス futuro	マリノスと協働で開催している知的障害者のサッカー教室	42回	1,751人
アウトドアスポーツ教室	ヨットの体験乗艇を行う教室	10回	75人
合 計 (昨年度)		5,791人 (5,159人)	

<スポーツ・レクリエーションの時間>

プログラム	内 容	回数	参加者数
グラウンドゴルフ広場	グラウンドゴルフを楽しむ時間	93回	914人
フライングディスクの時間	フライングディスクを楽しむ時間	5回	78人
ターゲットスポーツの時間	ビームライフルやダーツ、吹き矢等のスポーツを楽しむ時間	14回	55人
オリジナルスポーツの時間	ラポールで独自に開発したビンゴボールやターゲットボッチャ等のスポーツを楽しむ時間	49回	1,208人
卓球の時間	卓球を楽しむ時間	21回	492人
ボッチャの時間	ボッチャを楽しむ時間	22回	228人
合 計 (昨年度)		2,975人 (3,587人)	



卓球教室



転倒骨折予防教室

エ スポーツ大会・交流イベント

障害者のスポーツの普及振興及び競技力向上を目的に「ハマピック」を行いました。「ハマピック」の結果に基づいて全国障害者スポーツ大会への派遣選手を選考し、10月に岐阜県で行われた本大会へ選手を派遣しました。なお、代表となった選手には本大会までの間、強化練習を実施し、競技力の向上を図りました。

知的障害者のサッカーの普及を図るため、横浜F・マリノスとの共催事業としてサッカー教室を開催しました。

スポーツフェスタとして「水泳の日」「ボッチャの日」「ボウリングの日」「バスケットボールの日」「サッカーの日」を開催し、健常者を含めた各種目の愛好者間の交流を進めました。また、競技力の向上を目的に「オレンジリーグ（卓球）」「ボッチャリーグ」「フライングディスク記録会」を実施しました。さらに「ラポールの祭典」「障害者スポーツ体験」等の開催を通じて、市民が広く障害者のスポーツを理解できる機会の促進を図りました。

<第16回ハマピック>

プログラム <sup>1)</sup>	内 容 <sup>2)</sup>	回数	参加者数
水泳	身体障害及び知的障害を対象とした水泳競技(4月22日)	1回	260人
卓球	身体障害及び知的障害を対象とした卓球競技(4月22日)	1回	56人
フライングディスク	身体障害及び知的障害を対象としたフライングディスク競技(4月30日)	1回	94人
陸上	身体障害及び知的障害を対象とした陸上競技(5月6日:三ツ沢公園陸上競技場)	1回	259人
サウンドテーブルテニス	視覚障害を対象としたサウンドテーブルテニス競技(4月15日)	1回	18人
アーチェリー	身体障害を対象としたアーチェリー競技(4月15日)	1回	3人
ボウリング	知的障害を対象としたボウリング競技(4月15日)	1回	79人
バスケットボール	知的障害を対象としたバスケットボール競技(9月22日・23日)	2回	165人
ソフトボール	知的障害を対象としたソフトボール競技(11月11日:岸根公園野球場)	1回	26人
バレーボール	知的障害を対象としたバレーボール競技(11月24日・25日)	2回	183人
サッカー	知的障害を対象としたサッカー競技(12月9日:しんよこフットボールパーク)	1回	123人
合 計 (昨年度)		1,266人 (1,401人)	

\*1) プログラム欄のうち、「水泳」「卓球」「フライングディスク」「陸上」「サウンドテーブルテニス」「アーチェリー」「ボウリング」は個人競技、「バスケットボール」「ソフトボール」「バレーボール」「サッカー」は団体競技です。

\*2) 内容欄で会場の記載のないものは、ラポールのスポーツ施設における実施です。

<スポーツ・フェスタ>

プログラム	内 容	回数	参加者数
水泳の日	どなたでも参加が可能な水泳の記録会(7月1日)	1回	496人
ボウリングの日	障害のある方と介護者、家族を対象とした記録会(9月2日、1月20日)	2回	99人
ボッチャの日	どなたでも参加が可能なボッチャの競技会(2月17日)	1回	145人
バスケットボールの日	どなたでも参加が可能なバスケットボールの競技会(8月5日)	1回	93人

サッカーの日	どなたでも参加が可能なサッカーの競技会 (3月17日)	1回	79人
合 計 (昨年度)		912人 (985人)	

<各種リーグ戦や記録会>

プログラム	内 容	回数	参加者数
オレンジリーグ (卓球)	卓球やサウンドテーブルテニスの競技力向上を目的としたリーグ戦	11回	493人
ボッチャリーグ	ボッチャの競技力向上を目的とした競技会	10回	259人
フライングディスク記録会	フライングディスクの競技力向上を目的とした記録会	8回	106人
ボウリング記録会	ボウリングの競技力向上を目的とした記録会	6回	124人
全国大会強化練習	横浜市代表選手を対象に競技力の向上を図る練習会	45回	229人
合 計 (昨年度)		1,211人 (1,189人)	



強化練習 (陸上競技)



スポーツ・フェスタ ボッチャの日

<第12回全国障害者スポーツ大会の実績>

期 間：平成24年10月11日～16日

派遣人数：選手56人・役員32人の合計88人

成 績：金=27個、銀=11個、銅=5個 (大会記録8)

金メダル獲得ランキング：全国第2位 メダル獲得率：全国第10位

オ 人材育成

「みんな笑顔！」を、ラポールの限られたマンパワーで実現するためには、障害者スポーツへの理解のある人材育成が特に重要であるという視点から、今年度は普及啓発につながる研修事業の充実を図りました。

<各種研修>

プログラム	内 容	回数	参加者数
障害者スポーツ・ボランティア養成入門講座	原則 15 歳以上、横浜市に在住のボランティア活動希望者を対象とした研修会 (5 月 17 日～10 月 23 日)	8 回	67 人
初級障害者スポーツ指導員養成講座	原則 18 歳以上、横浜市に在住のスポーツ・ボランティア養成入門講座受講者かスポーツ・レクリエーションの指導を行っている方を対象とした研修会 (1 月 26 日、2 月 2 日・9 日・16 日)	4 回	188 人
フォローアップ研修会	横浜市在住のスポーツ・ボランティア養成入門講座受講者か障害者スポーツ指導員の方を対象にスキルアップを目指す研修会 (9 月 9 日、3 月 9 日)	2 回	40 人
障害者スポーツ体験研修会	横浜市内の学校を中心に小中学生や教職員へ障害者スポーツの理解を深める体験研修会	13 回	5,448 人
地域スポーツ団体研修会	横浜市体育協会や地域ボランティア等を対象にした実践的な研修会	18 回	377 人
大学機関への障害者スポーツ研修会	横浜市内外の大学に対する講義・実習、卒論研究協力等による普及啓発	23 回	180 人
横浜市職員や企業向けの障害者スポーツ体験研修会	市や企業の職員に対し、障害者スポーツの普及啓発を図る研修会	2 回	94 人
中学生・高校生職場体験	中学生や高校生がラポール各課の見学や体験を通し、職業について学ぶ研修	2 回	24 人
合 計 (昨年度)		6,418 人 (2,139 人)	

カ 地域支援

今年度の地域支援は、全体で 300 回と昨年度の 308 回に続き、多数回の実施となりました（これまでの平均は 238 回、最多 308 回）。実施内容は、例年と同様にグラウンドゴルフやボッチャ、ラポールが独自に開発したオリジナルスポーツ等の教室開催に加え、自主活動グループへの支援が中心です。地域におけるネットワーク作りでは、横浜ベイサイドマリーナで障害者がヨットを楽しむ環境が整備されました。また、瀬谷、金沢、鶴見、旭等で関係機関等との連絡会が定期的開催され、各区の状況に差はあるものの、ネットワークとしての機能を発揮しています。特に旭区では、中途障害者地域活動センターや区役所、当事者グループやラポール等が協力し、旭区の中途障害者を主たる対象としたガイドブックの発行に至るなど、ネットワーク機能の成果が見受けられました。

<地域支援>

プログラム	内 容	回数	参加者数
スポーツ教室	原則、地域の障害者を対象としたスポーツ教室	64回	977人
フォローアップ	ラポールのこれまでの取り組みにより、地域で自主的なスポーツ活動を開始したサークル等に対する支援	81回	1,289人
研修	地域のボランティア等を対象とした研修	4回	147人
介護予防系プログラム	主に高齢者を対象としたプログラム	49回	1,054人
その他	原則として地域の障害者を対象とした出張スポーツ指導や、地域間交流スポーツ大会等の開催	102回	2,287人
合 計 (昨年度)		5,754人 (6,976人)	

キ 新しい取組

新ビジョンの「みんな笑顔！」を実現するため、「フィールドは横浜市域！」の事業を展開することが目標となりました。ラポールの限られたマンパワーでこれを実現するためには、様々な形での人材育成や組織連携の更なる強化等が重要と整理しました。

また、スポーツ基本法の施行を受け、国としてのスポーツ行政が変化していくことが予想される中、これに柔軟に対応することも今後の課題となることは明らかです。

そこで、新しい取組に進めるよう現行事業を検証し、スポーツ事業課内での業務分担を改め、平成25年度の体制を整えたことが今年度の大きな取組であったと考えます。

基本的には、スポーツ事業課で行う様々な業務を「プログラムの開発」「プログラムの普及」という軸で考え、日々の施設運営、教室や個別指導、大会・イベントの企画運営、地域支援の各要素でノウハウを着実に蓄積し、人材育成や組織連携につなげていくことを改めて確認し、これを実現するための体制を確立しました。

### 3 文化振興事業

#### (1) 運営方針

「観る・聴く・楽しむ」ための場や、障害者の個々のニーズにあった創作への動機付けを図るための多様な文化的体験・能力開発の場を提供するほか、障害者の生活や文化に関する各種情報を提供することにより、障害者の社会活動・文化活動を支援しました。

#### (2) 平成24年度における重点的な取組

ア リハビリテーション・カルチャー（リハカル）の推進

主に片麻痺の方を対象に、リハセンター作業療法士、ソーシャルワーカーと連携した「片手キッチンスタジオ」の実施や、言語聴覚士と連携した「失語症の方のための会話の会」(2教室)などを実施し、一層の強化を図りました。

イ 匠の技を取り入れた新しい文化活動の創造

横浜マイスターの協力のもと、横浜ラポールやパシフィコ横浜においてステンドグラス教室や封筒作りの体験講座を実施しました。

ウ 地域支援事業の充実

移動おもちゃ図書館をはじめ、各種おもちゃ展や料理教室を6区11箇所にて実施しました。

エ 20周年記念事業の実施

市内在住の知的障害のプロの和太鼓コンサートや、おもちゃ展などを実施しました。また、毎年開催している国際親善交流特別演奏会を、横浜ラポール開館20周年記念特別演奏会として拡充しました。

(3) 文化企画事業

障害者の文化活動発表の場である「横浜ラポール芸術市場」、ラポールシアターでのコンサート等のほか、気軽に参加できる「ラポールファクトリー」を開催しました。

また、様々な文化教室・ワークショップ、陶芸作品の窯焼きを毎月実施しました。

ア 文化振興事業

障害者の文化活動発表の場である「横浜ラポール芸術市場」の開催にあたっては、作品・出演者を広く公募し、日頃の活動が発表できる場としました。

<横浜ラポール芸術市場>

プログラム	内 容	回数	参加者数
ラポール美術展	絵画、写真、書、陶芸など510点の作品の展示会。同時に「さをり織り」や書道などのワークショップを体験コーナーとして「あなたも芸術家!?!」を併催(10月17日~23日)	1回	2,616人
いのち 生命のリズム	障害のある方が参加している太鼓やバンドのグループの合同発表会(10月27日)	1回	217人
ジョイフルフェスタ	障害のある方が参加しているグループによるダンス・ゴスペル・バンドの合同発表会(11月3日)	1回	282人
ハッピーコーラス 2012	横浜ラポールのワークショップから自主サークルで活動しているグループや地域の障害者団体によるコーラス発表会(11月10日)	1回	203人
みんなdeパソコン	障害者のパソコン利用支援グループ「ドリームナビゲーター横浜」による、パソコンを使っている缶バッジ作りやタブレット体験パソコン相談会と併催(11月10日)	1回	129人

オータムステージ	障害のある方が参加しているグループによるダンスや合奏などの合同発表会（11月11日）	1回	302人
ハートフルコンサート	障害者によるピアノ演奏や器楽合奏等の合同発表会（12月1日）	1回	139人
ドリーマーズステージ	夢を追いかけている障害がある方たちの落語・バンド・ハーモニカ演奏（12月2日）	1回	121人
ミュージカル「あなたの笑顔が見たくて」	障害者グループによるミュージカルの合同発表会に日本語字幕を付けて実施しました（12月15日）	1回	329人
合 計（昨年度）			4,338人（3,749人）

#### イ 交流事業

障害の有無に関わらず、多くの人々が共に楽しめるイベントを、いろいろな団体と共同企画し、幅広い文化領域にわたって開催しました。

また、1階ロビーで月1回程ラポールファクトリーを実施しました。

#### <自主・共催企画事業>

プログラム	内 容	回数	参加者数
福祉レクリエーションフォーラム in 横浜ラポール	全国福祉レクリエーション・ネットワーク、日本レクリエーション協会と共催による、障害者の文化活動を支える方々を養成するフォーラムを開催（5月12日・13日）	1回	90人
講演会「盲ろう者鹿さんのカンボジア体験記」	盲ろう者である藤鹿一之さんを迎えての講演会に要約筆記、指点字の通訳を入れて実施（5月13日）	1回	78人
横浜交流音楽祭	アマチュアとプロ、さらに障害者の演奏家による市民手作りの音楽交流フェスティバル（5月26日）	1回	229人
夏休み舞台のお仕事講座	シアターの音響・照明機器に実際に触れてもらい、舞台演習がどうなされているか実際に体験してもらう講座（8月9日・10日）	1回	10人
開館20周年記念事業「友野龍士和太鼓コンサート」	横浜出身の知的障害のあるプロの和太鼓奏者のコンサート（9月15日）	1回	207人
字幕付き音楽劇鑑賞会「王さまの耳はロバの耳」	神奈川県内で活動している劇団湘南山猫による音楽劇に、聴覚に障害がある方にも楽しんでもらえるよう日本語字幕を付けて実施（10月7日）	1回	166人

「障害者週間」国際親善交流特別演奏会	日本音楽文化交流協会と共催し、障害者を無料招待したクラシックコンサート (10月29日)	1回	286人
ゲームで遊ぼう	神奈川県アミューズメント施設事業者協会の協力によるゲーム機の無料開放(11月23日)	1回	701人
耳の日イベント字幕付き映画上映会「きな子」	聴覚障害の方にも楽しんでいただけるよう、字幕サークルが日本語字幕を付けた映画会 (3月3日)	1回	112人
字幕付きミュージカル「赤毛のアン」&「ウエストサイドストーリー」	NPO 法人とタイアップした本格的なミュージカル。聴覚障害の方にも楽しんでいただけるよう日本語字幕を付けて実施(3月30日)	1回	272人
合 計 (昨年度)		2,151人 (3,325人)	



横浜ラポール芸術市場  
「あなたの笑顔が見たくて」  
＜ラポールファクトリー＞<sup>1)</sup>



横浜ラポール開館20周年記念  
「友野龍士和太鼓コンサート」

プログラム	回数	参加者数
ようこそ紙芝居の世界へ＜手話通訳付き＞	8回	61人
ロビーマジックショー		72人
ギター弾き語り in ラポール		65人
弦楽の素敵な音色を聴こう！		60人
中秋に奏でるヴィヴラフォンとヴァイオリンの響き		81人
歌って踊って！紙芝居がやってきた！！		90人
みんなで聴こう！クリスマスコンサート		65人
楽しいマジックとかわいい腹話術		60人
合計 (昨年度)	554人 (445人)	

\*1) 1階ロビーにて、毎月1回、第2土曜日の昼休みに音楽会などを開催しました。  
(4月・8月・1月・2月を除く)

ウ 自己啓発事業

障害者の創作活動や余暇活動を支援するために、対象者やテーマ別に各種の教室・体験会を開催しました。

また、経済局雇用労働課の協力を得て、横浜マイスターによるステンドグラス教室を実施しました。

<教室等>

プログラム	内 容	回数	参加者数
失語症の方のための会話の会	リハセンターの言語聴覚士と連携、ST 訓練を経た失語症者に対し、テーマに沿った内容の座談会を支援するプログラム	12 回	63 人
失語症の女性のための会話の会	リハセンターの言語聴覚士と連携、ST 訓練を経た失語症の女性に対し、テーマに沿った内容の座談会を支援するプログラム	11 回	69 人
キッチンスタジアム in ラポール	リハセンターの作業療法士、ソーシャルワーカーと連携、片麻痺の方を対象にした料理教室	10 回	50 人
バリアフリークッキング in フォーラム	「男女共同参画センター横浜」との共催で、主に障害のある男性を対象にした料理教室 (9 月 8 日・29 日)	2 回	22 人
バリアフリークッキング in あざみ野フォーラム	「男女共同参画センター横浜北」との共催で、障害のある男性を対象にした料理教室 (12 月 8 日・15 日)	2 回	20 人
バリアフリークッキング in 能見台	能見台地区センター(NPO 法人金沢区民協働支援協会)との共催で初めて実施した料理教室 (2 月 2 日・16 日)	2 回	24 人
ラポールバリアフリークッキング	食生活に興味を持ち、栄養や料理についての知識を深めるとともに、簡単で健康的なメニューに取り組んだ料理教室	6 回	72 人
アートサロン	主に中途障害者を対象とした平日実施の絵画教室	18 回	135 人
ものづくり広場	主に 10～30 歳代の知的障害者を対象とした、絵画や工作を中心とした教室	9 回	89 人
造形ワークショップ	主に身体障害者を対象とした絵画や造形作品を制作する教室	9 回	54 人
ステンドグラス教室	経済局雇用労働課の協力による、横浜マイスターによるステンドグラス教室	3 回	42 人
夏休み親と子の工作教室	神奈川土建一般労働組合横浜支部の協力による、親子で楽しめる木工やタイル細工教室 (8 月 5 日)	1 回	76 人
演劇体験ワークショップ	主に知的障害者を対象としたチャンバラ体験やミニ演劇鑑賞会 (2 月 17 日)	1 回	41 人

陶芸 1 日体験教室 (初心・初級・親子)	片麻痺、視聴覚障害、障害児等年齢や障害の特性に配慮した陶芸体験会	18 回	258 人
陶芸サロン	陶芸初心者のためのフォローアップとしてサロン形式で実施	5 回	29 人
合 計 (昨年度)		1,044 人 (1,016 人)	

<陶芸窯焼成>

プログラム	内 容	回数	参加者数
陶芸窯焼成個人	個人利用者が対象の素焼きと本焼き(有料)	6 回	276 人
陶芸窯焼成大物	20 cm以上の大物作品の焼成	3 回	14 人
合 計 (昨年度)		290 人 (337 人)	

(4) おもちゃ図書館事業

おもちゃ図書館事業では、多様なおもちゃ遊びができる場の提供や障害児及び障害児関連団体等を対象にしたおもちゃ等の貸出を行いました。平成 24 年度のおもちゃ図書館利用者数は 9,519 人 (昨年度 10,107 人) でした。

また、主に春休み・夏休み期間のおもちゃ展や工作教室、おもちゃ病院など楽しく参加できる行事を実施し、延べ 3,195 人 (昨年度 2,718 人) が参加しました。

おもちゃ図書館事業では、多様なおもちゃ遊びができる場の提供や障害児及び障害児関連団体等を対象にしたおもちゃ等の貸出を行いました。

さらに、館外での事業として「移動おもちゃ図書館」等を実施し、関連団体の地域活動を支援するとともに連携強化を図りました。

<おもちゃ・紙芝居・書籍類の貸出>

内 訳	平成 24 年度貸出数 (昨年度)	
個人 (障害児・保護者等)	4,354 点	(3,236 点)
	1,397 人	(1,409 人)
団体 (療育機関・訓練会等)	2,387 点	(2,522 点)
	452 団体	(487 団体)

<研修会>

プログラム	内 容	回数	参加者数
地域指導者研修会	おもちゃ図書館にある参考図書の著者で、障害児教育関連書を出版している小笠毅さん、元法務大臣の千葉景子さんの講演。 協力：横浜市障害児者を守る会、あおばおもちゃのひろば (3 月 21 日・23 日)	2 回	67 人

<行事・イベント等>

プログラム	内 容	回数	参加者数
おもちゃ病院	個人や団体・横浜ラポールの壊れたおもちゃ計348点をワイワイおもちゃドクターズ倶楽部のボランティアが修理	12回	個人 89人 団体 18件
みんなのお楽しみ会	第2土曜日に実施する、お誕生月の児童のお祝いのための手遊びやマジック	8回	210人
工作ひろば	第2土曜日に実施する、年齢問わず参加できる簡単な工作の会	8回	310人
わくわくボックス	「縁日ごっこ」「クリスマス」等をテーマとする遊びの会（7月7日、12月8日）	2回	109人
夏のおもちゃ展 ～いろいろな積木で 遊ぼう！～	ラポールの積木をはじめ外国製、布製、段ボールなど、様々な国や素材の積木を展示（8月22日～8月26日）	1回	436人
夏のおもちゃ展ワー クショップ	積木ワークショップ、デザートクッキング（8月22日～26日）	8回	130人
春のおもちゃ展ワー クショップ	風を楽しむ工作教室、デザートクッキング（3月23日～25日）	5回	68人
四季の工作	貝殻や木の実などの自然素材を利用した工作教室（8月11日・10月6日）	2回	97人
秋のおもちゃ展～ スイッチで楽しむお もちゃ特集～	スイッチに触れることで動きを楽しめるおもちゃの展示（11月15日～11月19日）	1回	316人
世界のバリアフリー 絵本展	国際児童図書評議会障害児図書資料センター選定の18カ国60点の障害をテーマにした図書の展示（3月16日～24日）	1回	418人
ぐるーぷ・もこもこ の布えほんと布の遊 具展	ボランティアグループが制作した布の遊具や布絵本の展示（3月16日～24日）	1回	312人
もこもこの布 おもちゃ講習会	フリースのパペット作り（3月21日・23日）	2回	15人
ラポールの祭典 「おもちゃの広場」	神奈川県内のおもちゃ図書館ボランティアによる遊びや工作教室（9月2日）	1回	600人
合 計（昨年度）			3,195人（2,718人）



ぐるーぷ・もこもこの布えほんと布の遊具展

(5) 情報ネットワーク

パソコン等の情報端末をとおして、社会参加のための情報収集・提供やコミュニケーションの支援を行いました。また、情報バリアフリーを進めるための講座などを行いました。

ア ホームページの運営

横浜ラポールのイベント情報等を中心とした、ホームページのコンテンツ制作及び運営を行いました。また、横浜ラポール内の全施設の予約状況は運営日は毎日更新し、広報誌（ラポラポ）が閲覧できるページについては、月1回の更新を実施しました。

ホームページアドレス <http://www.yokohama-rf.jp/shisetsu/rapport/>

イ 運営状況

年間総アクセス数： 736,849 件（昨年度：799,535 件）

<情報バリアフリー支援講座等>

プログラム	内 容	回数	参加者数
パソコン相談会	パソコンボランティアの協力を得て、初心者を対象とした、パソコンの購入・使用方法等に関する相談会とパソコン体験会	4回	433人
夏休みパソコンであそぼ	中高校生を対象とした、パソコンを使ったTシャツ作成などの講習会	2回	16人
スマートフォン体験教室	高機能携帯電話（スマートフォン）の基本操作体験と障害のある方の活用事例講習会	1回	13人
合 計（昨年度）			462人（354人）

(6) 地域支援

地域における障害児・者の文化活動を推進するために、市内の施設などと共催事業等を実施しました。

<地域支援>

プログラム	内 容	回数	参加者数
バリアフリークッキング in フォーラム 〈再掲〉	「男女共同参画センター横浜」との共催で、障害のある男性を対象にした料理教室 (9月8日・29日)	2回	22人
バリアフリークッキング in あざみ野フォーラム 〈再掲〉	「男女共同参画センター横浜北」との共催で、障害のある男性を対象にした料理教室 (12月8日・15日)	2回	20人
バリアフリークッキング in 能見台〈再掲〉	能見台地区センター(NPO 法人金沢区民協働支援協会)との共催で初めて実施した料理教室 (2月2日・16日)	2回	24人
あおばおもちゃの広場	青葉区社会福祉協議会との共催で、地域の障害児と健常児の交流を目的に実施しているおもちゃの貸出や情報提供(通年)	61回	2,696人
移動おもちゃ図書館 「海の公園」	金沢区の海の公園ふれあいセンターにて、当館のおもちゃ、活動紹介を展示 (5月12日～14日)	1回	329人
移動おもちゃ図書館 「横浜らんぼ」	都筑区障害児居場所づくり事業所「横浜らんぼ」より依頼を受け、同所の活動を支援するとともに、当館の活動を利用者に紹介 (7月25日)	1回	9人
移動おもちゃ図書館 「戸塚療育センター」	「戸塚療育センター」より依頼を受け、同センターが参画する「東戸塚地区センター秋まつり」に出展し、当館の活動を紹介 (10月27日)	1回	190人
移動おもちゃ図書館 子育てサークル 「ピーカブー」	戸塚区を拠点に活動する子育てサークル「ピーカブー」より依頼を受け、当館活動を紹介すると共に、「横浜障害児を守る連絡協議会」の協力を得て、障害児の子育て体験談も開催 (11月15日)	1回	60人
移動おもちゃ図書館 子育てサークル 「ポポラ」	都筑区子育て支援センター「ポポラ」より依頼を受け、木のおもちゃ展を実施し、当館活動を紹介するとともに、施設との連携を強化 (12月20日～22日)	3回	214人
移動おもちゃ図書館 子育てサークル 「分室うみ」	戸塚療育センター「分室うみ」より依頼を受け、光のおもちゃ展を実施し、事業団内連携を強化 (1月22日～24日)	3回	33人

ヨッテク 移動おもちゃ 図書館	ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド 2012 にて、ラポールのおもちゃ・地域のおも ちゃ図書館の活動を紹介 (7月 26 日～27 日)	1 回	—
ヨッテク 「横浜マイスターの 技能体験」	経済局雇用労働課の協力を得て、ヨコハ マ・ヒューマン&テクノランド 2012 内で 実施した横浜マイスターの体験教室	1 回	52 人
出張パソコン相談会	ヨコハマヒューマン&テクノランド 2012 内で、パソコン相談会やパソコンに関する 福祉機器の展示、缶バッジ作りを実施	1 回	462 人
合 計 (昨年度)		4,111 人 (3,357 人)	

### (7) 季節行事

平成 22 年度より、利用者に親しまれる「横浜ラポール館内の景観作り」として、自己啓発事業の教室で作られた美術作品を 1 階ロビーに展示するとともに、利用者の方々にも季節行事に参加していただきました。7 月の「七夕」では、利用者の方々に短冊に願い事を書いていただき、それらを地元の方からいただいた笹竹に飾り付けしました。その他には、5 月に「こどもの日」と合わせてこいのぼりの塗り絵や兜の展示、9 月に「実りの秋」と題して作品展示、10 月に「ハロウィン」、12 月に「クリスマス」の飾り付けと作品展示、1 月に「オリジナル 50 音カルタ」の作品展示、2 月に「節分」の飾り付け、3 月に「ひなまつり」の人形と作品を展示しました。



七夕飾り



ハロウィン



実りの秋



クリスマス

## 4 聴覚障害者情報提供施設事業

### (1) 運営方針

国の定める「聴覚障害者情報提供施設」として、関係機関・団体や他都市の聴覚障害者情報提供施設と連携し、「手話・筆記通訳派遣」・「聴覚障害者相談」・「ビデオライブラリー」・「視聴覚機器の貸出」などの横浜市受託事業を実施しました。

横浜市筆記通訳者制度整備への協力については、引き続き横浜市及び関係団体と協力し制度整備に努めました。今年度は、平成 25 年度以降の横浜市要約筆記者派遣制度切り替えのため、移行研修・登録試験の実施、新派遣要綱規定事項の調整等を行いました。相談事業については、「聞こえの相談事業」を、横浜市総合リハビリテーションセンター及び関係機関団体との連携により、広報の拡充等事業内容の充実を図りました。高齢ろう者（独居・夫婦世帯）への支援については、出張相談の拡充を引き続き図りました。

### (2) 平成 24 年度における重点的な取組

#### ア 横浜市筆記通訳者制度整備への協力

横浜市筆記通訳者制度整備への協力については、引き続き横浜市及び関係団体と協力し制度整備に努めました。今年度は、平成 25 年度以降の横浜市要約筆記者派遣制度切り替えのため、移行研修・登録試験の実施、新派遣要綱規定事項の調整等を行いました。

#### イ 聞こえの相談事業

相談事業については、「聞こえの相談事業」を、横浜市総合リハビリテーションセンター及び関係機関団体との連携により、広報の拡充等事業内容の充実を図りました。

#### ウ 高齢ろう者（独居・夫婦世帯）への支援

高齢ろう者（独居・夫婦世帯）への支援については、出張相談の拡充を引き続き図りました。

### (3) 手話・筆記通訳派遣事業

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者が、社会生活上必要とする場合に手話または筆記通訳者を派遣し、意思の疎通を支援することにより聴覚障害者等の福祉の増進を図ることを目的として、事業を実施しました。

#### ア 平成 24 年度事業の概況

(ア) 横浜市非常勤手話通訳者 25 人、横浜市登録手話通訳者 119 人、横浜市登録筆記通訳者 117 人、手話・筆記通訳派遣業務担当職員 7 人で、手話・筆記通訳の依頼に対応しました。

(イ) 総派遣・紹介人数は 9,074 人（手話通訳 7,670 人・筆記通訳 1,404 人）でした。総派遣・紹介人数及び手話通訳派遣・紹介人数は過去最高でした。

(ウ) 公的派遣のうち、救急手話通訳者派遣数は 12 人でした。紹介のうち、横浜地方裁判所からの裁判員裁判に関する通訳依頼は 1 件（管轄：横浜地方裁判所小田原支所）あり、神奈川県及び川崎市の派遣窓口と連携して対応しました。ま

た、神奈川県警通訳センターからの事件・事故の手話通訳者派遣は35人でした。その他、市外での通訳依頼で、他都市派遣制度に通訳者手配を依頼した事例は36件でした。また、他都市からの依頼で通訳者を派遣した事例は32件でした。

- (エ) 通訳者の研修事業では、自主研修として、登録手話通訳者に対し、登録1年次、2年次、3年次、全体を対象に4コース(延べ29回)、非常勤及び中堅登録手話通訳者対象の専門研修を6回、また、横浜市聴覚障害者協会が行う手話通訳者養成・試験対策研修の支援(職員を講師派遣)、横浜市中途失聴・難聴者協会の行う筆記通訳者研修の支援(手書き・パソコン計12回)を、同じく要約筆記者補習講習(対象:横浜市登録筆記通訳者91人・全14回)の支援(運営協力、職員を講師派遣)を行いました。また、要約筆記者登録試験対策として、フォローアップ研修(筆記試験対策1回、実技2回)を実施しました。

派遣研修としては、第30回全国要約筆記問題研究集会(滋賀県)、全国聴覚障害者情報提供施設協議会コミュニケーション支援事業担当者研修会(京都府)、市町村手話通訳者・要約筆記者派遣コーディネーター研修会(神奈川県)に担当職員を派遣しました。全国要約筆記問題研究集会については、実行委員会からの依頼により、派遣担当職員が第二分科会(「運動論Ⅱ」)のパネラーを努めました。

- (オ) 通訳者との会議・懇談では、非常勤手話通訳者業務調整会議を6回、手話通訳者事業連絡会、筆記通訳者事業連絡会を各1回実施しました。
- (カ) 関係機関団体との連携では、神奈川県及び川崎市との派遣窓口会議を1回実施し、今年度の神奈川県全域の派遣について連携を確認しました。その他、消防局に対し救急手話通訳手配、神奈川県警通訳センターに対し事件・事故の際の通訳者手配、横浜地方裁判所に対し裁判員裁判通訳手配に関してそれぞれ協力しました。
- (キ) 横浜市手話通訳者登録試験(手話通訳者全国統一試験)の運営・審査等に協力しました。
- (ク) 横浜市要約筆記者登録試験(要約筆記者全国統一試験)の運営等に協力しました。
- (ケ) 救急手話通訳者派遣事業のシステム改善とPRに協力しました。また、国の方針を受け、横浜市筆記通訳者養成研修・認定・派遣制度のあり方等について関係者と協議を行いました。

## イ 派遣人数

### (ア) 手話・筆記通訳者別派遣・紹介人数

通訳者の種類		派遣人数	紹介人数	合計	
手話通訳者	非常勤手話通訳者	25人	3,286人	138人	3,424人
	登録手話通訳者	119人	3,380人	767人	4,147人
	情報提供施設職員	7人	99人	0人	99人
	小計	151人	6,765人	905人	7,670人
登録筆記通訳者		117人	1,104人	300人	1,404人
合計 (昨年度)		268人 (256)	7,869人 (7,687)	1,205人 (1,301)	9,074人 (8,988)

## (イ) 内容別派遣・紹介人数

通訳内容	手話通訳者		筆記通訳者		合 計	
	派遣	紹介	派遣	紹介	派遣	紹介
医療・保健に関すること	3,830	10	81	0	3,911	10
	3,840		81		3,921	
司法に関すること	69	48	3	2	72	50
	117		5		122	
教育・保育に関すること	1,029	9	39	0	1,068	9
	1,038		39		1,077	
労働・雇用に関すること	186	381	117	104	303	485
	567		221		788	
社会生活に関すること	957	36	52	0	1,009	36
	993		52		1,045	
自己啓発に関すること	197	3	8	0	205	3
	200		8		208	
福祉推進に関すること	486	418	803	194	1,289	612
	904		997		1,901	
聴覚障害者相談の通訳	11	0	1	0	12	0
	11		1		12	
合 計 (昨年度)	6,765	905	1,104	300	7,869	1,205
	(6,494)	(977)	(1,193)	(324)	(7,687)	(1,301)
	7,670 (7,471)		1,404 (1,517)		9,074 (8,988)	

## &lt;うち公的派遣人数&gt;

	手話通訳関係		筆記通訳関係	
	派遣数	割合	派遣数	割合
医療・保健に関すること	3,830	56.6%	81	7.3%
司法に関すること	69	1.0%	3	0.3%
教育・保育に関すること	1,029	15.2%	39	3.5%
労働・雇用に関すること	186	2.8%	117	10.6%
社会生活に関すること	957	14.1%	52	4.7%
自己啓発に関すること	197	2.9%	8	0.7%
福祉推進に関すること	486	7.2%	803	72.8%
聴覚障害者相談の通訳	11	0.2%	1	0.1%
合 計	6,765	100.0%	1,104	100.0%

## &lt;公的派遣のうち、救急手話通訳派遣事業での派遣対応した人数&gt;

通訳依頼時間	実績 (昨年度)	備 考
派遣窓口時間内(9:30-17:00)	4人(7)	
派遣窓口時間外(17:00-9:30)	8人(11)	同事業に登録している通訳者 32人
合 計	12人(18)	

<紹介のうち、横浜地方裁判所からの裁判員裁判通訳依頼への対応人数>

回	予定日数	対象	通訳種別	予定人数(実績数)	備考
1	4日間	1人	筆記	手書き 2(2) PC22(0)	選任手続きのみ

※ 通訳数は、横浜市・神奈川県・川崎市の合計数

<紹介のうち、神奈川県警通訳センターからの事件・事故通訳依頼への対応人数>

通訳依頼時間	実績(昨年度)	備考
派遣窓口時間内(9:30-17:00)	29人(15)	
派遣窓口時間外(17:00-9:30)	6人(7)	同事業に登録している通訳者26人
合計	35人(22)	

(ウ) 他都市とのネットワーク

a 他都市に派遣依頼した件数

通訳者の派遣を依頼した事業所	件数
埼玉聴覚障害者情報センター	19
神奈川県聴覚障害者福祉センター	6
千葉聴覚障害者センター	4
とちぎ視聴覚障害者情報センター	1
東京手話通訳等派遣センター	1
山梨県立聴覚障害者情報センター	1
広島県要約筆記ネットワーク	1
名身連聴覚言語障害者情報文化センター	1
茨城県聴覚障害者福祉センターやすらぎ	1
京都市聴覚言語障害センター	1
合計(昨年度)	36(41)
依頼事業所数(昨年度)	10(17)

b 他都市からの依頼に対し通訳派遣した件数

通訳派遣の依頼があった事業所	件数
東京手話通訳等派遣センター	14
とちぎ視聴覚障害者情報センター	4
富士宮市役所	4
高知県聴覚障害者協会	3
茨城県聴覚障害者福祉センターやすらぎ	2
静岡県静岡市	2
相模原市役所	1
群馬県みどり市社会福祉協議会	1
群馬県熊谷市役所	1
合計	32
依頼事業所数	9

## (エ) キャンセル・変更等処理件数

内 容	件数	説 明
通訳者が手配できなかった	15	前日窓口終了後や当日の依頼で派遣不可能等
依頼者からのキャンセル	237	取消・日程変更・主催行事中止・自然災害等
派遣対象外	20	派遣場所が市外で、内容が市外派遣対象外等
他都市の派遣窓口を紹介	54	広域の派遣として他都市窓口との連携等
通訳者の変更	1	通訳者の事情（病気等）で変更等
日程変更	43	派遣日の変更
相談員	1	相談員が対応
合 計	371	

## ウ 研修事業

## (ア) 自主研修

## a 登録手話通訳者1年次研修(対象者：9人)

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	5月14日	読みとり実技	9人	非常勤手話通訳者1人
2	6月18日	派遣事例検討	9人	職員1人
3	7月2日	聞きとり実技	9人	非常勤手話通訳者1人 横聴協職員1人 職員1人
4	8月6日	各場面模擬通訳Ⅰ	9人	非常勤手話通訳者1人 登録手話通訳者1人 横聴協職員2人 職員1人
5	9月3日	各場面模擬通訳Ⅱ	9人	非常勤手話通訳者1人 登録手話通訳者1人 横聴協職員2人 職員1人
6	2月4日	自己点検報告書まとめ	8人	職員2人

## b 登録手話通訳者2年次研修(対象者：15人)

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	5月28日	読みとり実技	14人	非常勤手話通訳者1人 登録手話通訳者1人
2	7月23日	事例検討	14人	職員1人
3	9月24日	事例討議・模擬通訳	13人	非常勤手話通訳者2人
4	10月29日	ビデオ事例検討・ 模擬通訳	14人	登録手話通訳者2人 職員1人

## c 登録手話通訳者3年次研修(対象者：7名)

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	6月25日	模擬通訳・相談事例	7人	登録手話通訳者1人 職員1人

2	8月27日	対人事例・討議	7人	職員1人
3	10月1日	問題解決のステップ	7人	世田谷福祉専門学校1人 職員1人

d コース別研修(対象者：全登録通訳者)

<聞きとり>

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	5月19日	話の聴き方とメモの取り方	73人	登録筆記通訳者3人
2	7月14日	シャドーイング	71人	非常勤手話通訳者4人 登録手話通訳者1人
3	8月4日	難しい表現にチャレンジしよう	74人	非常勤手話通訳者1人 登録手話通訳者2人
		豊かなイメージをふくらませよう	73人	非常勤手話通訳者1人 登録手話通訳者2人

<読みとり>

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	6月2日	大会時の読みとり	85人	フリー司会者1人 非常勤手話通訳者1人
2	10月27日	翻訳読みとりグループワークショップ	83人	職員2人
3	11月10日	二～四年次 翻訳読みとり	38人	非常勤手話通訳者1人 登録手話通訳者2人

<医療>

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	4月23日	事例発表	34人	非常勤手話通訳者1人 登録筆記通訳者1人 職員1人
2	9月10日	医療体験談	42人	登録手話通訳者2人

e 全体研修(対象者：全手話通訳者)

回	実施日	内 容	参加	講 師
1	6月9日	講義「聴覚障害者の精神保健」	88人	双葉会診療所精神科医師1人
2	6月30日	講義「公益通訳翻訳論」	106人	大阪大学グローバルコラボレーションセンター1人
3	9月29日	講義「聴覚障害者の働く課題と現状」	98人	東京聴覚障害者自立支援センター1人
4	11月3日	講義「社会の中の手話言語」	89人	成蹊大学1人
5	1月26日	講義「手話通訳者のメンタルヘルス」	79人	大阪社会医学研究所1人

f 横浜市手話通訳者専門研修(対象者：非常勤 25 人・登録者 47 人)

回	実施日	内 容	参 加		講 師
			非常勤	登録者	
1	7 月 9 日	派遣との連携（報告書をもとにより良い引き継ぎを考える）	22 人	36 人	職員 1 人
2	10 月 15 日	司法：警察での取り調べの流れ	23 人	18 人 職員 5 人	職員 1 人
3	11 月 12 日	司法：取り調べにおける通訳のあり方	21 人	—	職員 1 人
4	1 月 21 日	講義：精神医療場面の通訳のあり方	23 人	17 人 職員 6 人	双葉会診療所精神科医師 1 人
5	2 月 18 日	医療場面の事例（家族同席の場合）についてグループワーク	23 人	—	非常勤手話通訳者（研修担当） 職員 1 人

g 横聴協支援事業(手話通訳者全国统一試験対策)

回	実施日	内 容	参加	支援内容
1	8 月 15 日	試験概要説明	13 人	職員 1 人を講師派遣
2	10 月 31 日	手話要約試験評価	13 人	〃
3	11 月 14 日	手話場面試験評価	13 人	〃

(i) 派遣研修

名 称	期日	場所	派遣者
全国要約筆記問題研究集会	6 月 16 日～ 6 月 17 日	滋賀県	職員 1 人
全聴情協コミュニケーション支援事業担当者研修会	7 月 18 日～ 7 月 20 日	京都府	職員 2 人
市町村手話通訳者・要約筆記者派遣コーディネーター研修会	2 月 1 日	神奈川県	職員 1 人

(4) 聴覚障害者相談事業

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者の日常生活の各種の相談に応じ、個々の実情に即した適切な処遇を図り、聴覚障害者等の福祉の向上に資することを目的として事業を実施しました。

今年度も高齢者(独居・夫婦世帯)を含めた計画的な出張相談の拡充を図りました。また、聞こえや補聴器に関する専門相談として、「聞こえの相談事業」を平成 24 年 2 月から新たに開始しました。情報提供施設聴覚障害者相談員とリハビリテーションセンター言語聴覚士が連携して、相談を実施しています。

ア 平成 24 年度事業の概況

- (ア) 総相談件数は725件でした。ラポールへの来所相談に加えて、相談員が出張し、聴覚障害者の居住地域の関係機関と連携しながら相談支援を行いました。
- (イ) 相談者の実数は188人、内聴覚障害者(個人)は156人でした。
- (ウ) 「聞こえの相談事業」の対応数は32件でした。事業のPR計画と資料案を作成し、運営委員会で確認の後、各区担当者と港北区内関係機関へ事業チラシを配布しました。また、関連事業である「講座 聞こえと補聴器」にて事業の説明を行いました。同事業の事務局として、運営委員会(委員10人)を2回開催しました。
- (エ) 横浜市障害者社会参加推進センター主催の講座「聞こえと補聴器」に運営協力しました。
- (オ) 聴覚障害者精神保健研究集会(年1回)、関東ろうあ者相談員連絡会(年5回)、全国ろうあ者相談員研修会(年1回)に参加し、相談業務の一助としました。

イ 相談の内容

<相談内容>

相談内容	実件数		延べ件数	
	件数	割合	件数	割合
医療	48件	13.3%	132件	18.2%
職業	26件	7.2%	55件	7.6%
教育	2件	0.5%	2件	0.3%
住宅	25件	6.9%	39件	5.4%
生活	125件	34.5%	252件	34.8%
福祉	93件	25.7%	151件	20.8%
法律	25件	6.9%	62件	8.5%
聞こえの相談	18件	5.0%	32件	4.4%
合計 (昨年度)	362件 (398)	100.0%	725件 (730)	100.0%

<相談の場所>

面接場所	24年度	23年度	22年度	
ラポール	550回	577回	602回	
出張	175回	153回	166回	
	訪問	81回	95回	90回
	同行	32回	17回	29回
	同席	47回	40回	45回
ケース会議	15回	1回	2回	
合計	725回	730回	768回	

ウ 相談者の状況

<障害別件数>

種 類		実 人 数		
聴覚障害者(個人)	ろう者	121人	77.6%	64.4%
	難聴者	35人	22.4%	18.6%
	小計	156人	100.0%	
健聴者(個人)		15人		8.0%
団 体		17人		9.0%
合 計		189人		100.0%

(イ) 聴覚障害者(個人)の居住地域

地域名	実人数		地域名	実人数		地域名	実人数	
鶴見	15人	9.6%	旭	13人	8.3%	戸塚	5人	3.2%
神奈川	8人	5.1%	磯子	5人	3.2%	栄	9人	5.8%
西	3人	1.9%	金沢	6人	3.8%	泉	2人	1.3%
中	9人	5.8%	港北	11人	7.1%	瀬谷	5人	3.2%
南	5人	3.2%	緑	14人	9.0%	市外	2人	1.3%
港南	11人	7.1%	青葉	7人	4.5%	不明	0人	0.0%
保土ヶ谷	18人	11.5%	都筑	8人	5.1%	合計	156人	100.0%

(5) ビデオライブラリー事業

聴覚障害者用に字幕を挿入したビデオ及びCS障害者専用放送統一機構「目で聴くテレビ」提供番組、通訳者研修教材ビデオの自主制作を行うとともに、字幕・手話入りビデオの貸出を行いました。

ア 平成24年度事業の概況

- (ア) ライブラリーの制作では、字幕制作3作品・自主制作58作品の合計61作品を制作しました。字幕制作については字幕サークル「まじっく」の協力を得ました。
- (イ) ビデオライブラリーの貸出は、336件1,961本の実績でした。
- (ウ) 全国聴覚障害者情報提供施設協議会主催の担当職員研修会(11月に岡山県で開催)に参加し、業務の一助としました。また、映像事業担当職員が、全国聴覚障害者情報提供施設協議会からの依頼を受け、平成25年度関東ブロック担当職員研修会の初開催に向け、準備に関わっています。

イ ライブラリーの制作

種 類	制作数	作 品 名 等	備 考
字幕付き映画上映会等の字幕制作	3作品	劇団湘南山猫「王様の耳はロバの耳」(音楽劇) 「きな子」(映画会) 「赤毛のアン・ウエストサイドストーリー」(音楽劇)	ラポール文化企画事業との連携(字幕制作と投影)

自主制作	2 作品	「つつうらうら～ステンドグラス～」 「ラポール 20 周年を迎えます」	オリジナル (CS 障害者専用放送統一機構番組提供含む)
	41 作品	通訳者研修講演 手話通訳者研修教材	手話・筆記通訳者派遣事業との連携
	2 作品	祭典シアター企画上映 美術展 PR	ラポール事業との連携
	13 作品	筆記通訳者移行研修教材	浜難聴との連携



字幕付き音楽劇の様子

(6) 視聴覚機器貸出事業

聴覚障害者団体や聴覚障害者を支援するサークル等に視聴覚機器の貸出を行いました。総貸出件数は 980 件でした。機器点検は年 10 回 (毎月第 2 火曜日) 実施しました。

内 訳			在庫数	件 数
O	H	P	3	15
ス	ク	リ	7	172
磁	気	ル	1	35
液	晶	プ	2	173
テ	ー	プ	3	47
ビ	デ	オ	2	71
O	H	C	2	69
V	H	S	1	81
パ	ソ	コ	2	211
パ	ソ	コ	2	106
合 計 (昨年度)				980 (936)

(7) その他の事業

ア 広報事業

関係機関・団体および通訳者に対して聴覚障害者情報提供施設事業を紹介するため、機関紙「横浜ウエーブ」を年 6 回偶数月に各 600 部発行し、ラポールホームページにも掲載しました。

イ 頸肩腕特殊健康診断

非常勤手話通訳者、登録通訳者 (月 5 件以上) 及び情報提供施設職員について

は7月、1月に直接検診を実施。登録手話・筆記通訳者全員には年1回問診票による予備検診を実施し167人が受診しました。予備検診の結果、直接検診が必要な通訳者は7月の直接検診を受診しました。

<直接検診結果>

種類	回	A	B1	B2	B3	C	計	判定基準
非常勤手話通訳者	1	22	3	0	0	0	25	A :異常ありません B1 :疲労回復に心がけましょう B2 :働き方の見直しと改善を要します B3 :治療と業務軽減を要します C :休業治療を要します (日本産業衛生学会頸肩腕障害研究会)
	2	23	2	0	0	0	25	
登録手話・筆記通訳者	1	54	6	0	0	1	61	
	2	29	0	0	1	0	30	
情報提供施設職員	1	10	1	0	0	0	11	
	2	10	1	0	0	0	11	

ウ 全国聴覚障害者情報提供施設協議会等との連携

第8回聴覚障害者情報提供施設総会及び大会(6月に千葉県で開催)、関東ブロック会議(8月に埼玉県で開催)に参加しました。また、他の聴覚障害者情報提供施設と連携し、CS障害者専用放送統一機構に番組を提供しました。

エ 関係機関・団体との連携

聴覚障害者団体・通訳者団体・関係機関と年31回、通訳者派遣事業・相談事業や聴覚障害者福祉制度等に関する協議を行いました。

横浜市聴覚障害者協会の実施する横浜市手話通訳者登録試験(手話通訳者全国統一試験)の運営・審査等に協力しました。また、今年度初めて実施した横浜市要約筆記者登録試験(要約筆記者全国統一試験)の運営等に協力しました。

オ 手話・筆記通訳者制度等の整備

今年度は、特に国方針を受けた横浜市要約筆記者派遣制度切り替え(25年度より)のため、移行研修・登録試験の実施、新派遣要綱規定事項の調整等を行いました。また、手話・筆記通訳者単価のあり方について横浜市と協議を行いました。

カ 視察・実習対応

国立リハビリテーションセンター学院(2回)・世田谷福祉専門学校・日本福祉教育専門学校・市立樽町中学校・鶴見総合高校・国際協力機構東京国際センター(ミャンマー研修生)、市立ろう特別支援学校他に対応しました。

キ 行事等への出席

横浜市聴覚障害者の集い・神奈川県ろうあ者大会・横浜いのちの電話評議員会・講座「聞こえと補聴器」他に出席しました。

## 5 広報事業

横浜ラポールの利用を促進し、障害者の社会参加及び障害者とその他の市民相互の交流を図るため、次のとおり実施しました。

(1) 横浜ラポール広報誌・催し物案内の発行

月間催し物案内「ラポラポ」を発行し、市・区役所、障害児・者施設をはじめ、関係機関約500か所で配布しました。また視覚に障害のある方や、高齢者向けの読み上げ装置(スピーチオ)を総合受付脇に設置しました。

(2) 事業概要（年報）の発行

(3) 視察・見学者への施設案内

件数：34件（昨年度70件） 人数：590人（昨年度1,216人）

(4) インターネットによる広報

ホームページを作成し、広く施設情報を紹介しました。

## 6 その他

利用者へのサービス向上を図るため、利用者満足度調査を行いました。また各種研修・訓練等の実施により、施設の円滑な運営や安全管理を進めるとともに、職員の業務に対する意識の向上に努めました。

(1) 利用者満足度調査

施設運営上の課題等を把握し、利用者へのサービス向上を図るため、利用者満足度調査を昨年度に引き続き実施しました。

ア 実施方法 アンケート方式（無記名）

イ 実施期間 平成25年2月26日～3月18日

ウ 回収数 322通

エ 結果

1 利用者の方に障害はありますか？

- |       |      |
|-------|------|
| ① ある  | 207人 |
| ② ない  | 109人 |
| ③ 無回答 | 6人   |

2 利用者の方の年齢はいくつですか？

- |         |     |
|---------|-----|
| ① 10代以下 | 10人 |
| ② 20代   | 29人 |
| ③ 30代   | 36人 |
| ④ 40代   | 58人 |
| ⑤ 50代   | 44人 |
| ⑥ 60代   | 69人 |
| ⑦ 70代以上 | 49人 |
| ⑧ 無回答   | 27人 |

質問1 ラポール職員の対応についてうかがいます。

- |         |      |
|---------|------|
| ① とても満足 | 117人 |
| ② やや満足  | 83人  |
| ③ ふつう   | 87人  |
| ④ やや不満  | 10人  |
| ⑤ とても不満 | 3人   |
| ⑥ 無回答   | 22人  |

質問2 ラポール主催のスポーツ事業（教室・大会など）に参加したことがありますか？

- |       |      |
|-------|------|
| ① ある  | 139人 |
| ② ない  | 158人 |
| ③ 無回答 | 25人  |

質問2-2 「はい」の方にかがいます。参加されていかがでしたか。

- |         |     |
|---------|-----|
| ① とても満足 | 55人 |
| ② やや満足  | 42人 |
| ③ ふつう   | 36人 |
| ④ やや不満  | 6人  |
| ⑤ とても不満 | 0人  |

質問3 ラポール主催の文化事業（シアター事業・教室など）に参加したことがありますか？

- |       |      |
|-------|------|
| ① ある  | 94人  |
| ② ない  | 173人 |
| ③ 無回答 | 55人  |

質問3-2 「はい」の方にかがいます。参加されていかがでしたか。

- |         |     |
|---------|-----|
| ① とても満足 | 31人 |
| ② やや満足  | 38人 |
| ③ ふつう   | 21人 |
| ④ やや不満  | 2人  |
| ⑤ とても不満 | 0人  |
| ⑥ 無回答   | 2人  |

質問4 ラポール内の掃除についてうかがいます。

- |         |     |
|---------|-----|
| ① とても満足 | 94人 |
| ② やや満足  | 73人 |
| ③ ふつう   | 65人 |
| ④ やや不満  | 26人 |
| ⑤ とても不満 | 6人  |
| ⑥ 無回答   | 58人 |

質問5 ラポールの空調（暖房・冷房・ほこりなど）についてうかがいます。

- |         |     |
|---------|-----|
| ① とても満足 | 98人 |
| ② やや満足  | 79人 |
| ③ ふつう   | 89人 |
| ④ やや不満  | 14人 |

- ⑤ とても不満 0人  
 ⑥ 無回答 42人

(2) 職員研修

職員を対象に研修を実施しました。

<職員研修>

研 修 名	回数	参加者数
個人情報取扱い研修会	27回	82人
救急救命研修会 (7月25日午前・午後)	2回	51人
感染症対策研修会 (11月22日・24日)	2回	43人
メンタルヘルス研修会(2月12日)	1回	138人
通報訓練	12回	38人
救助訓練	12回	28人

(3) 防災対策

自衛消防組織の編成及び任務

自衛消防隊長 副隊長 (館長) — (副館長)	通報連絡班長：消防機関への連絡、館内放送 (管理・文化事業課長)
	初期消火班長：消火器・屋内消火栓による初期消火活動 (スポーツ事業課長：振興担当)
	避難誘導① 班長：館内利用者の避難誘導 (スポーツ事業課長：指導担当)
	避難誘導② 班長：館内利用者の避難誘導 (スポーツ事業課長：人材担当)
	避難誘導③ 班長：館内利用者の避難誘導 (聴覚障害支援課長)

<消防訓練の実施状況>

実 施 日	内 容
5月15日	横浜ラポールの地震発生を想定した防災訓練
11月6日	横浜ラポールの火災を想定した、横浜市総合リハビリテーションセンター・横浜ラポール・横浜市保健医療センター、3施設合同の防災訓練

(4) 運営委員会の開催

横浜ラポールの運営に障害者等利用者の意見を反映するため、関係者で構成する運営委員会を開催しました。

開催状況 年1回(11月14日)

※年度当初に事業計画、事業報告を行うため、平成24年度は3月に行っていた運営委員会を平成25年6月開催となったことから、今年度は1回の開催となりました。

(5) 施設利用状況

横浜ラポールでは、障害者を優先的に施設の貸出を行いました。

ア 利用区分による利用状況

	利用者数		昨年度
個人利用数	188,374人	(100.0%)	175,956人
障害者	135,827人	(72.1%)	126,609人
介護人等	34,602人	(18.4%)	32,779人
一般	17,945人	(9.5%)	16,568人
団体利用数	262,248人 (8,311団体)	(100.0%)	258,917人 (7,827団体)
障害者	93,066人	(35.5%)	91,738人
介護人等	46,374人	(17.7%)	44,379人
一般	122,808人	(46.8%)	122,800人
利用者数 合計	450,622人(1日平均1,306.2人)		434,873人

イ 障害別による利用状況(個人利用の内訳)

内 訳	利用者数		昨年度
肢体不自由	83,203人	(61.2%)	80,570人
知的障害	26,593人	(19.6%)	23,152人
精神障害	6,964人	(5.1%)	6,110人
視覚障害	4,602人	(3.4%)	4,712人
内部機能障害	4,329人	(3.2%)	4,108人
重複障害	6,253人	(4.6%)	5,216人
聴覚障害	3,883人	(2.9%)	2,741人
合 計	135,827人	(100.0%)	126,609人

ウ 施設別区分による利用状況

	利 用 者 数	昨年度
ス ポ ー ツ 施 設	281,599 人 (100.0%)	258,216 人
プール	78,207 人 (27.8%)	60,166 人
メインアリーナ	69,273 人 (24.6%)	69,884 人
フィットネスルーム	60,182 人 (21.4%)	58,971 人
サブアリーナ	30,977 人 (11.0%)	28,597 人
屋外グラウンド	16,177 人 (5.7%)	14,856 人
ボウリングルーム	12,224 人 (4.3%)	12,474 人
地下グラウンド	9,172 人 (3.3%)	8,794 人
テニスコート	5,387 人 (1.9%)	4,474 人
文 化 施 設	169,023 人 (100.0%)	176,657 人
ラポールシアター	49,932 人 (29.5%)	47,972 人
大会議室	32,043 人 (19.0%)	30,622 人
ラポールボックス	27,298 人 (16.2%)	27,870 人
ラポール座	15,190 人 (9.0%)	19,551 人
和室	16,149 人 (9.6%)	19,202 人
創作工房	10,046 人 (5.9%)	10,962 人
小会議室	8,442 人 (5.0%)	10,192 人
おもちゃ図書館	9,519 人 (5.6%)	10,107 人
聴覚障害者情報提供施設 <sup>1)</sup>	404 人 (0.2%)	179 人

\*1) 聴覚障害者用字幕付きビデオ貸出人数